

**継続は力なり。中学進学・高校進学は特に大切!気は抜けません!**

この春から皆さんは新学年での生活が始まりますね。新しい学年では、『〇〇を頑張ろう』という意気込みで溢れていることと思います。今回は現小6(新中1)と現中3(新高1)生を対象に新生活をする上でのポイントをまとめました。新学年での生活をより実りあるものにするためにぜひ参考にしてください。

**【【新中1】】**

この時期は「中学・高校・大学すべてにかかわる学習の基礎を学びます」。中1ギャップという言葉があるくらい、中学生活は小学生時代の環境と異なります。やはりどんな時もスタートが肝心です。ここで適当に過ごしてしまうとこの後の3年間…いえ、人生に大きく影響してしまうかも知れません。そのくらい大切な時期なのです。

**勉強とは**

『わからないことをわかるようにする』『わかったものを反復練習で定着させる』

この2つです。とくにこの時期に習う内容は、中学に限らず今後の勉強の基礎となるものです。その内容理解に出遅れてしまうと、巻き返しも難しくなってきます。中1に限ったことではありませんが、本来この時期は『習ったらすぐに復習、そしてくり返し』が本当に重要になります。確かに、初めての部活に新しい学校行事にと新生活に戸惑ったり忙しくなったりする時期ですが、それは周りの中1生も同じです。忙しさを理由に勉強を疎かにしないようにしましょう。

**《意識して取り組んでほしい3つのこと》****◆どの授業も真面目に受ける**

約3年後に高校受験(試験範囲は中学3年間分の内容)という試練が待ち受けています。まずは日々の授業を真面目に受け、時間を大切にしてください。受験で出題されない実技4教科も、成績では入試の可否に関わってくるので、手を抜かずに真剣に取り組んでください。

**◆見やすいノートをつくる**

授業ノートは後で見直しができるように丁寧に書いてください。黒板を写すのはもちろん、先生が話していることで大切だと思う部分はメモをとるようにしてください(あらかじめ、ノートにそういう余白を作っておくと良いです)。また、先生によっては「ここはテストに出すよ」というアドバイスもするので、そういうときはメモだけでなくカラーペン等で目立たせると良いでしょう。

**◆毎日授業の復習をする**

習い事に塾にと、忙しい日々を過ごしていると思います。ですが、授業で確認したことを定着させるために必ず主要5科目の授業の復習をしてください。毎日することが時間的に難しいのならば、科目ごとに復習する曜日を決めると良いです。

## 【【新高1】】

### 《主体性をもって行動する》

高校は中学とは違い、自ら行動することが大切です。学校のスケジュールはもちろん、受験までの流れを早いうちに把握し準備していきましょう。いつまでも『なんとかなる』『誰かが何とかしてくれる』はもう通用しません。

### 《進度はより早くなる。予習復習は必須》

高校の授業は中学と比べて量もスピードも格段にアップしますので授業前後の予習・復習が必須です。また定期試験の科目も増え、日程も長くなりますので日々計画的に学習しなければ間に合いません。

### 《戦いのステージは全国レベルへ》

大学受験は全国レベルの戦いになります。ライバルの中には既卒生や中高一貫校の生徒など様々。校内で上位の成績を取っていても志望校に受かるかは別の話です。模試を活用し全国順位を把握しよう。

### 《英語・数学のポイント(一夜漬けは通用しない)》

- ◆全体的に:読解力・思考力・判断力が問われる問題が増えてきているので、日頃から読み解く力を訓練しておく必要がある。
- ◆英語:覚える単語は中学の2倍以上に。共通テストに必要な語数は5000語とされています。毎日コンスタントに覚える習慣を身に付けよう。長文読解の内容はより複雑になるため、単語の語源を理解し、他の意味を類推する力も必要となります。
- ◆数学:中学では1年で1冊の教科書でしたが、高1では“数学Iと数学A”の2冊を学ぶことになり、量が増える=スピードもアップするということになります。また授業中に演習は少なく、多くの問題演習は各自で進める必要があります。つまりサボればすぐ差がついてしまうということです。

### 「短い春休みを有効活用する」

春休みは想像以上に大切な機会です。1学期は学校生活も多忙になり、じっくりとした復習がしにくい時期です。ですからこの春休みは前学年の復習や新学年の予習に絶好の機会です。目標を決めて学習することはもちろん、最低1つだけでも単元を決めて完璧にしておこう。一つ一つの小さな積み重ねが、皆さんを成長させていきます。新学年という節目を機に、良い習慣が身に付くように努め、充実した学校生活が送れるようにしましょう。

「ベストでは、定期テスト対策・受験対策が万全に行える態勢が整っています。上級学校でのよりよいスタートが切られるよう、引き続きベストでがんばっていきましょう!」